

経営比較分析表／団体全体（令和3年度決算）

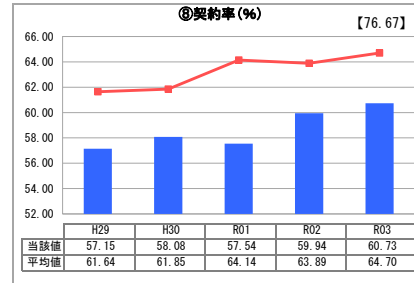
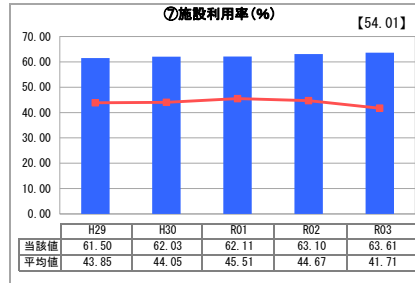
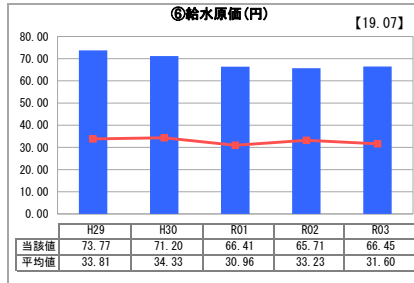
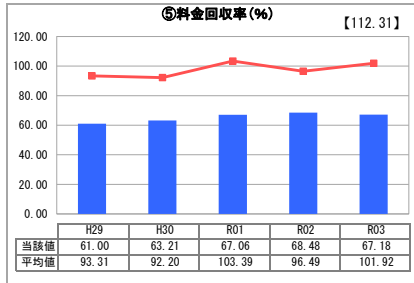
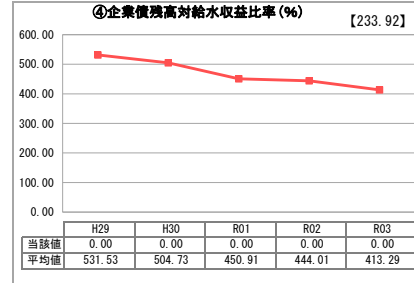
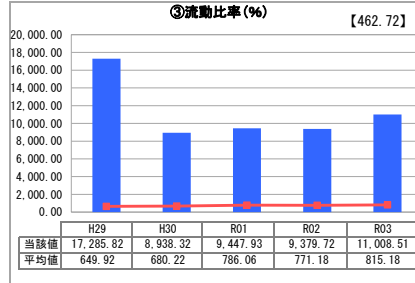
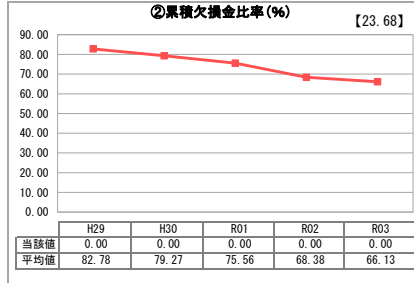
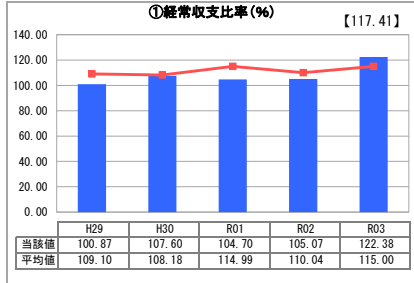
佐賀県 杵島工業用水道企業団
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	10,000	小規模	1	6.361
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	99.4	13	6,073	その他	

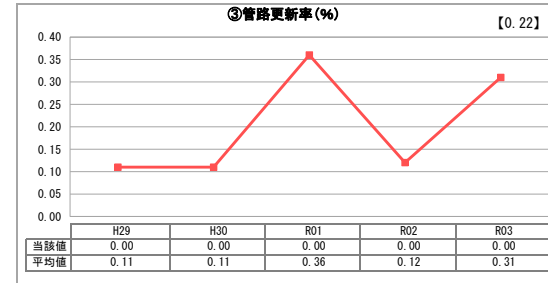
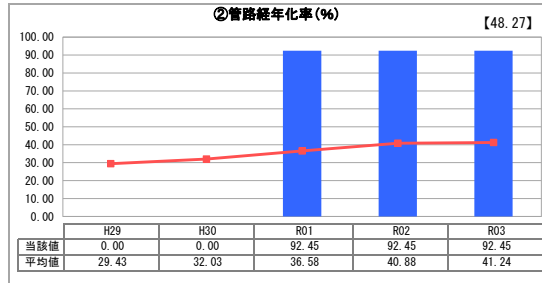
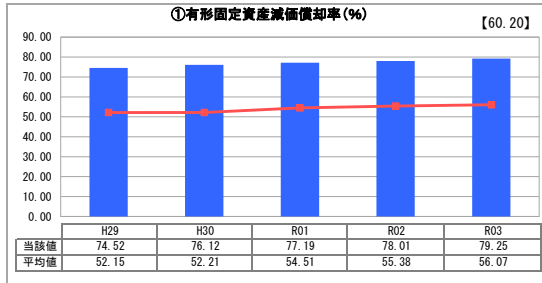
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は前年度と比較すると増加しており、類似団体平均値も上回っているが、今年度は他会計からの繰入金等が増加したためであり、料金回収率、契約率は共に平均を下回り低い値であるため、安定した給水収益を確保していくためには未売水を解消し、契約水量の増加に努めていく必要がある。流動比率については100%を超えており、短期的な債務に対する支払い能力は十分に備えていると考える。給水原価は減価償却費等の固定的経費の割合が大きいため高い数値で推移しており、施設利用率についても契約水量の伸び悩みにより100%を下回っている。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、管路経年率は平均を大きく上回っていることから送・配水管路や浄水施設等における老朽化が進んでいると考えられる。現在、事業計画に基づき送水管路を中心とした更新事業に取り組みしており、今後も危険箇所や管理困難箇所等を考慮しながら計画的に進めていく。

全体総括

経常収支比率、流動比率等の指標では100%を上回っており、経営の健全性・効率性については良好な状態であると考えられる。今後は使用状況を踏まえながら更なる水利用を働きかけ、給水収益の増加による安定した財源確保に取り組んでいく。また、施設の老朽化に対しては長寿命化を図りながら更新計画を進め効率的かつ安定的な経営に努めていく。